

6

2025

三重病院

ニュースレター

news letter vol.305

- 01 子どもの発達や知能の検査について
- 02 三重の新生児・乳児をRSウイルス感染症から守るために
ツウちゃんの病院探検〈2病棟〉
- 03 日本アレルギー学会東海地方会
第128回 日本小児科学会 in Nagoya
通所支援事業のひとコマ
- 04 2病棟の子どもたちの生活のひとコマ
糖尿病ワンポイントアドバイスNo.11
異動のごあいさつ
- 05 5病棟の生活のひとコマ
今月のみえツウちゃん／外来からのお知らせ
- 06 病院からのお願い／外来診察のご案内



子どもの発達や知能の検査について



三重病院では、子どもの発達や知能の検査を行っています。検査の対象は発達の遅れが気になるお子さんや日常生活や学習面で困り感を抱えているお子さん等で、医師が必要と判断した場合に心理療法士が実施しています。

発達検査はおもに未就学児や発達年齢が低めのお子さん等に受けていただく検査です。姿勢や運動、認知適応、言葉、社会性などが何歳ぐらいに育っているのかを測定します。おもちゃを使って検査をするので、遊び感覚で取り組みやすく、「楽しい!」とにこにこ笑顔で受けるお子さんも多いです。

知能検査はその名のとおりに「知的能力」を測定する検査です。知能には様々な領域がありますが、言葉や見て理解する力、ワーキングメモリー、処理速度などが同年齢集団の平均に対して、上なのか下なのか、かなり下なのか等の水準を測定します。健常といわれるほとんどの方に領域ごとに凸凹があることが知られており、領域の数値が平均より多少低くても、日常生活のなかで適応できていれば問題はない、とされています。

知能検査の活用例

例えば、授業中着席していられず、授業を受けることが難しいお子さんがいるとします。周りから見ていても、どうしてなのか原因がよくわかりません。知能検査の結果で、言葉の能力だけが低く他の領域は平均の場合には、トータルの数値が低くても必ずしも知的に遅れがあるとは考えません。言葉の能力の低さが日本語の習得知識の乏しさに起因する場合、支援方法として日本語の習得を提案します。母国語が日本語でない家庭のお子さん等では、日本語での日常会話に問題がなくても、日本語で授業を受けることが難しく離席してしまうのかな、と考えることができます。

また、ワーキングメモリーと処理能力が低い場合は、学習の定着率が悪いことから、一斉授業についていくことが難しく離席してしまうのかな、と考えることができます。何度でも優しく教える配慮や、見たり聞いたりしやすいように席を前の方にしたり、課題の量の調整や回答方法の工夫等、低い領域の力をサポートする方向で支援方法を

提案します。見て理解する力が良好であれば、イラストや写真、図、文字を使用した視覚支援を勧めることもあります。同じような状態でも背景となる原因は一人一人違うので、検査を受けていただくことによって、困り感の背景にあるものを推測して支援の方針を提案することが可能となります。

検査を受ける際の留意事項

発達や知能の検査は、病気や障害を診断するためのものではありません。診断は、医師による問診や行動観察、日常生活における困難の程度などさまざまなことを考慮して総合的に行われます。検査結果の数値がすべてでない、ということにご留意ください。

知能や発達の検査には練習効果というものがあります。他機関等で実施した日時から必要とされる期間が空いていない場合は、実施を見合わせる場合があります。

また夏休み中は検査を希望される方で混み合うことがあります。夏バテも検査結果に影響することがあります。お子さんの持っている力を発揮してもらうためには、体も心も疲れていない時期を選ぶことが大切です。低年齢のお子さんでは、機嫌のよい時間帯に受けていただくとういでしょう。遠方からはるばる検査を受けに来られる方もいらっしゃると思いますが、発達や知能の検査は、どこで受けても同じ結果となるように作られています。市町村の支援センター等に通われている場合には、同じところで検査を受けていただいた方が情報共有がスムーズにできる等メリットも多いです。初めての場所や人が苦手なお子さんも、なるべくなじみのある場所で受けることをお勧めします。

当院での発達検査・知能検査は完全予約制となっています。かかりつけの小児科等で発達面のお悩みや生活面・学習面での困りごと等をご相談いただき、かかりつけ医のご紹介状（診療情報提供書等）をお持ちのうえ当院小児科を受診していただくとスムーズです（心療科は再診のみの予約診療となっています）。子どもたちのより良い育ちを一緒に支えていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

（心理療法士 澤井 由紀子）